

第2号 (2005年) 目次

< 第19回国際宗教学宗教史会議世界大会 (IAHR Tokyo 2005) 企画報告集 >

西谷啓治の空の思想の展開	
「根源的構想力」に至る西谷の思惟の展開 —— ニヒリズムと「空」をめぐる	…………… 細谷 昌志 (3)
「空と即」における西谷の空の思想 —— 空のイマージュ化と有の透明化をめぐる	…………… 長谷 正當 (7)
「空と即」における構想力論の背景	…………… 小野 真 (11)
レスポンス : 西谷の根源的構想力論の現代的意義	…………… 氣多 雅子 (16)

科学技術時代における哲学と宗教 —— H.ヨナス『責任原理』の再検討 ——	
加害者意識としての責任概念 —— H.ヨナス『責任原理』における倫理と宗教	…………… 鶴 真一 (21)
ニヒリズム・生命原理・責任原理	…………… 竹内 綱史 (27)
科学技術時代に、「自然」はいかに宗教哲学の問題になるか	…………… 秋富 克哉 (34)
知としての恐れ of 感情	…………… 杉岡 正敏 (39)
責任原理と「アウシュヴィッツ以降の神」	…………… 杉村 靖彦 (45)

京都学派の神秘主義研究の意義はどこにあるのか —— 西谷啓治の神秘主義理解を中心に	…………… 後藤 正英 (50)
Jamesian View of Religion in Empiricism	…………… TSUTSUI Fumio (59)
根源知への志向としての神秘主義 —— エックハルトの知性論を通して ——	…………… 加藤 希理子 (65)
赦し、ほとんど狂気のように —— デリダの宗教哲学への一寄与	…………… 川口 茂雄 (73)